

聖徳大学所蔵名品展

# 百人一首

## とかるた

く書・描・遊く

令和四年

七月十一日（月）から

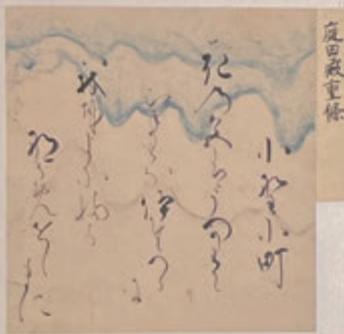
十月十五日（土）まで

休館日…日曜日・祝日・学事日程による

開催場所…聖徳大学八号館一階

企画展示ギャラリー





「百人一首手鑑」

聖徳大学所蔵名品展

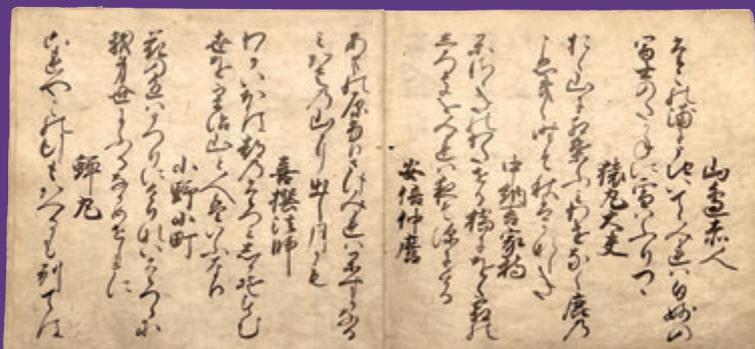
# 百人一首とかるた

～ 書・描・遊～

「百人一首」は謎の多い作品です。鎌倉時代後半には成立したとされますが、「百人一首」とよく似た「百人秀歌」との前後関係も、いつごろからこれほど有名になったのかも、はっきりとはわかりません。また、「百人一首」といえばかるたが連想されますが、「百人一首かるた」で遊ぶようになったのは江戸時代になってからでした。それまでは、百人の歌人の秀歌をまとめた書として大切にされていたのです。人の手で書き写され、歌人たちの姿が描かれ、そして、かるたとして遊ばれるようになった「百人一首」。その、さまざまな姿を紹介いたします。



奈良絵本「百人一首」



「百人一首」(三条西実隆筆)



「百人一首色紙形」  
(伝近衛信尋筆)



「幽双菴犬百人一首」



「時代不同歌合歌仙絵」



「百人一首かるた」

## 聖徳大学8号館1階 企画展示ギャラリー

JR常磐線・JR上野東京ライン・JR乗り入れ地下鉄千代田線・新京成線「松戸」駅下車 徒歩5分  
\*車でのご来場は、ご遠慮ください。 \*新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、開催状況を変更する場合があります。